



## ■ 謹賀新年 今年もよろしくお祈いします

新しい年、令和4年となりました。

12月には、このまま新型コロナウイルス感染症が収まっ  
ていくのかと思いきや、年末・新年で人の動きがあったからでし  
ょうか、新たな変異株・オミクロン株の動きがあるからでしょうか、全国的  
に爆発的な感染の広がりを見せています。加速度的に感染者が増える状況には恐  
怖を覚えますし、ワクチン未接種の若年層での感染が多いのも気になります。

まん延防止等重点措置が1都12県に出されましたが、私たちの基山町を囲むかのように  
山口県、長崎県、熊本県、宮崎県などで出されているのも怖いですね。佐賀県やすぐお隣の福  
岡県でも過去最多の新規感染者数を記録していて、本当に気が抜けないところです。

学校としては、これまで通り、毎朝の検温、マスク着用・手洗い・うがい・手指消毒の励行、  
定期的な換気、放課後の消毒（スクール・サポート・スタッフ=SSSという2名の職員で行っ  
ています）などを抜かりなく行いつつ、感染リスクの高い教育活動（グループでの学習、歌唱  
など大きな声を出す学習、調理実習など飲食を伴う学習）では割愛できるものは割愛しつつ、  
細心の注意を払っていきます。ご家庭におかれましても、児童本人以外のご家族の具合が思わ  
しくないとき、兄弟姉妹に熱があるときなどは、念のために登校を見合わせる（欠席扱いには  
いたしません）など、賢明なご対応、感染リスクの少ないご対応をお願いいたします。

また、2学期にも伝えておりましたが、万が一濃厚接触者に指定されたり、ウイルスに感染  
してしまったりした場合でも、1人に1台貸与されたタブレット端末を用いて教室の授業を  
受信することができます。3学期もさっそく、濃厚接触者に指定され、登校を見合わせている  
児童に、1日に2時間程度（主に午前中）、国語・算数を中心に授業の画像を配信しました。  
カメラマンがいない状態なので、画面は黒板（あるいは電子黒板）に固定され、音声として授  
業者の説明や友人の発表等が聞こえる形での受信となります。2学期に受信した児童や保護者様からは、「友達は  
こんな勉強をしているんだ…、というのが分かって少し  
安心した。」（ある児童）、「学校とつながっている感じがし  
て良いと思います。」（ある保護者様）という声が聞かれま  
した。リモート授業に参加することは、病気で崩れがちな  
生活リズムを堅持することにもつながります。ぜひ、担任  
にご相談下さい。



## ■ 1月29日（土）の授業参観・「若フェス」の中止について

上記にあるとおり、感染リスクの高い活動を避けることとなりますと、保護者様のお楽しみ  
である授業参観や、児童がお楽しみの「若フェス」をどうすべきかと頭を悩ませました。学校  
やPTA執行部の係の方々には、講演を下さる部署や、発表を下さる東明館学園の部活  
動顧問と打合せを重ね、着々と準備を進めておりました。

昨日1月19日（水）に開かれたPTA運営委員会で、開催するか否かの協議を行いました。  
学校長としては、行いたいのはやまやまだが、児童や保護者様の感染リスクを高くしたくない  
という思いで、泣く泣く中止にする旨の提案をし、役員全員一致で「感染リスクの高い活動は  
すべきでない。中止はやむなし。」という結論に落ち着きました。ちなみに、基山小も1/27（木）  
予定の授業参観を中止にしていますし、お隣の鳥栖市でも、1月下旬の授業参観はすべて中止  
になったとの情報があり、近隣の学校も適切な対応をされたのだな、と思いました。

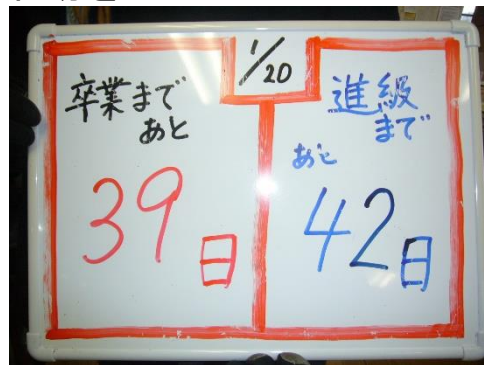
→12月末のPTA広報紙「大空」では高らかに開催をお伝えしましたが、児童・保護者様の安全を第一に考え、1月29日(土)授業参観・「若フェス」は、中止といたします。

楽しみにされていた方々、大変申し訳ありません。なお、当日29日(土)は、土曜授業自体を取りやめとし、通常の週休日とします。お休みの日となります。急な変更で申し訳ありません。児童クラブについては、通常の土曜日と同じ取り扱いをして下さいます。

2月22日(火)の午前中に、今年度最後の授業参観を予定しています。その時までには感染の拡大が落ち着いていることを祈るばかりです。

### ■ 3学期はあとわずか。残り時間を考えた活動を！

短い3学期、ぼやぼやしているとあっという間に卒業証書授与式・修了式が訪れます。残り少ない限られた日数・時間で充実した活動ができるよう、また、教師も児童も「あと〇日ならがんばれる！」と期限付きの意欲が出せるよう、私はこの時期、右のようなカウントダウンボードを持って朝の立ち番をしています。担任の先生方にも、「教室用のカウントダウンカレンダーを児童と作ってはいかがですか？」とお勧めしています。写真は1/20現在のもので、左側は6年生用にあと39日で卒業式ですよ、と知らせています。卒業証書授与式当日の朝(3/18)に0となるように逆算しています。1～5年生に向けては右の方、修了式の朝に(3/24)に0となるよう逆算して示しています。土曜日・日曜日・祝日は含めていません。「あと〇日」は、社会人風に言うと「あと〇営業日」という意味です。



### ■ おめでとう！！佐賀県高学年大賞！！

下の新聞記事にありますように、本校5年1組の内田理史さんが、「さがプログラミングアワード2021」において、県内最高賞の「高学年大賞」を受賞しました。大変喜ばしいことです。本人なりに緊張はしていたと思いますが、会場で私が見た感じでは、準備したプレゼンを使って、落ち着いて堂々と説明・発表ができていました。高学年大賞ですので、当然他の発表者には年上の6年生もいたのですが、それらを押しよけての受賞は価値あることです。3学期のリモート始業式で全校児童に紹介し、改めて表彰しました。

私はこのコンクールを初めて観覧して、児童の多岐に渡る総合的な学力が試されるなど感じました。まず、課題設定力です。自分が興味を持ったもの・ことを掘り下げる発想力とも言い換えられましょう。そしてその「ストーリー」をプログラミングに置き換える論理的思考力。それをプレゼンテーションに表し、聴衆に説明できる表現力。内田さんは、理科の自由研究で取り組んだ題材を生かしてこの発表につなげました。内田さんは、3/6開催の全国大会(オンライン)に出場します。健闘を祈る！

**さが**  
プログラミング  
アワード 2021  
学映システム

## 内田君(若少年) 全国大会へ

### 発想、表現、技術を高評価

出場者はプログラミングの関係を調べて最初、強グを動かし映像を見せ、く光り、ゆつり暗くなながら、特撮や工夫した点を3分間で発表した。審査の堀尾彰徳先生は水の波紋を参考に、「発想力、表現力、技術」と高く評価し、「光の波紋」を考えた、実験が力すべてが高評価。光の落ちる影、光が人間にうつる影を回廊の抵抗と光の明るさを与えるかもつかり考

県内の小学生がプログラミングのアイデアや完成度を競う「さがプログラミングアワード2021」(佐賀新聞社主催、公共デザイン・インシテア共催、学映システム特別協賛)の本選が5日、佐賀市のネットプラザで開催された。16人がアタリ、高学年の部は若年小(5年)の内田理史君が大会で輝いた。内田君は今年3月の全国大会にオンラインで出場する。

#### 3月にオンラインで出場

開会式では学映システム岡村拓社長がプログラミングで自分の考えを形にして発表できるというのは、子どもたちにとってかけがえのない経験。応援できてうれしい」とあいさした。(森田夏穂)

他の受賞者は次の通り。  
【低学年の部】大賞 上村華平(倉小3年) 準大賞 坂井智晴(赤松小2年)▽アイデア賞 高野遥琉(久保栗小2年)  
【高学年の部】準大賞 手塚悠介(内田6年)▽アイデア賞 小淵真晃(神野小4年)  
※来年1月22日付の特集面で掲載します。